

## 【利用事業主】

### バイオ科学株式会社

## 【訓練コース】（令和7年9、10月実施）

### 「AⅠ（人工知能）活用」（初級、中級にカスタマイズし4回実施）

## 受講した感想

### 受講者の声

管理部で、主に人事・広報を担当しています。人材採用や育成の仕組みづくり、社内外への情報発信を中心に、部署を超えて社員同士が学び合う環境を整えることを意識しています。人材育成や業務効率化の重要性が年々高まる中で、「知識や情報の共有」をいかに広げていくかが課題だと感じています。特に、属人的なノウハウを組織として蓄積し、誰もが使える形にしていくことが今後のテーマです。AIの活用はその解決策のひとつになると考えています。

（生産性向上支援訓練は）非常に実践的で、受講後すぐに業務で取り入れることができました。初回の研修から、AIは特別な人が使うものではなく、誰でも業務の一部として活用できるツールだと実感できました。実務に即した事例や、自社で推奨しているAIツールを中心に講義をカスタマイズしていただき、すぐに応用できた点が良かったです。さらに、受講後に各部の代表が活用事例を共有する場を設けたことで、活用の幅が広がりました。「こんな使い方もあるのか」と刺激を受ける機会になっています。私はほぼすべての業務でAIを使うようになりました。文案作成、アイデア出し、翻訳、契約書の点検、専門用語の解説、画像生成、簡単なシステムコーディングなど多岐にわたり、以前よりもスピード感を持って業務に取り組めるようになりました。（管理部 長江さん）

### 事業主の声

これまでも毎年、チームワークやコミュニケーションをテーマとした研修を実施してきましたが、社内アンケートで「ITやDXに関する研修を受けたい」という声が多く寄せられました。業務のデジタル化が進む中で、社員一人ひとりが新しいツールを理解し、活用できるようになることが重要だと考え、2025年度の研修テーマをAI活用に決定しました。2025年3月に実施した初回のAI研修（初級編）が好評で、当時受講できなかった社員からも受けたいという声が上がったため、9月に同内容を再実施し、10月には中級編を行いました。段階的な研修を行うことで理解が深まり、各自が業務に合わせた活用方法を見つけやすくなっています。各部署や業務によって異なりますが、文案作成やデータ整理など、AIが日常業務の一部として定着しています。また、研修後には各部代表が参加するフィードバック会を設け、実際に業務でどう活かしているかを共有しています。研修を単発で終わらせず、定着と応用につなげる仕組みを整えた結果、AIを継続的に使う文化が生まれました。以前はAIに苦手意識を持つ社員もいましたが、今ではほとんどの社員が自然に活用できるようになり、「AIに聞いてみよう」「AIでやってみよう」という発想が社内に浸透しました。研修後のフィードバック会を通じて他部署の成功事例を知る機会が増え、横のつながりも強化されました。AIをきっかけに、前向きに挑戦する文化が育っています。（今後は）職種や業務ごとに特化した応用研修で、AIを“学ぶ”から“活かす”段階へステップアップしていきたいと検討しています。

## 事業所概要

生命を科学する。

**bio** バイオ科学株式会社  
biosiense co.,ltd.

### ◆ バイオ科学株式会社 ◆

所在地 徳島県阿南市那賀川町工町246-1  
TEL:0884-42-3090 FAX:0884-42-3092

### 【事業概要】

動物用医薬品および飼料添加物の開発・製造・販売